

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和5年3月8日
タイトル	水土里レポートが繋ぐ土地改良区の輪！2023
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和5年2月9日（木）香川県観音寺市の柞田川沿岸土地改良区連合の役員、市担当職員9名の皆様が視察研修にいられました。

水土里ネット福山の土地改良区会館2階会議室において、杉原常務理事から「土地改良区の概要」「疏水百選・芦田川用水」について、佐々田から「21世紀土地改良区創造運動の取組」について説明しました。

質疑応答では、「土地改良区の合併」「賦課金徴収」「女性理事」などについて意見交換しました。

水土里ネット福山では、昭和、平成と大規模な合併をしているため、土地改良区の合併やそれに伴う賦課金徴収について具体的に意見交換をすることができました。

また、女性理事登用についても現状や今後の対応について意見交換をしました。



土地改良区会館より上流約10kmに位置する、芦田川用水の「七社頭首工」の視察をするためバスで移動しました。道中のバスの中から、土地改良施設や築城400年を迎えた福山城について説明をしました。

七社頭首工では芦田川の護岸まで近づき、間近で頭首工を見ていただくことができました。頭首工の仕組みなど熱心に見ておられました。また、今年は冬季渇水に苦慮しているところですが、芦田川を覗き込み、思ったより水量も多く水質も良いと言ってくださいました。



七社頭首工は疏水百選に選ばれた「芦田川用水」の取水施設で三川ダムからの放流水を一級河川芦田川より取水し、かんがい面積約300haに配水しています。受益地の主な農作物は水稻ですが福山市の特産物である「くわい」は、収穫時に用水を用いるため、10月から12月は「くわい収穫期」として水利権があることが特徴です。

水土里ネット福山は21世紀土地改良区創造運動の一環として、様々な活動を「水土里レポート」にして継続的に投稿しております。

このレポートをきっかけに「水土里ネット」の輪が広がっていくことを願っております。